

令和3年度
北多摩北部地域保健医療協議会 健康なまち・地域ケア部会
会議録

- 1 開催方法 書面開催
※令和4年3月2日（水曜日）、委員宛に資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

2 北多摩北部地域保健医療協議会 健康なまち・地域ケア部会委員

氏名	現職
指田 純	一般社団法人西東京市医師会長
水上 良二	一般社団法人東京都清瀬市歯科医師会長
阿部 康二	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院長
金子 恵一	社会福祉法人小平市社会福祉協議会長
住本 知子	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院家族会むさしの会会長
福留 潮	東村山市立回田小学校長
上木 隆人	公衆衛生活動研究所長
島田 美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 至誠こどもセンター所長
田中 宏治	立川労働基準監督署長
増田 敏喜	東村山市商工会長
長 孝	シチズン健康保険組合常務理事
村田 明美	公募委員
篠宮 智己	小平市健康・保険担当部長
山口 俊英	東村山市健康福祉部長
山下 公平	東京都多摩小平保健所長

北多摩北部地域保健医療協議会長

手島 陸久	日本社会事業大学元教授
-------	-------------

(敬称略)

3 欠席委員

なし

4 代理出席者

なし

5 議題

(1) 部会長選出

(2) 各部会の所掌事項の一部変更について

(3) 地域保健医療推進プランの進捗状況について

(4) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

6 意見のとりまとめについて

全ての委員の方から意見書をいただき、議決事項は承認された。

(意見とりまとめ結果は別紙のとおり)

令和3年度北多摩北部地域保健医療協議会 健康なまち・地域ケア部会（書面開催）
各委員からの意見

1 部会長の選出について

賛成 15名
反対 0名

2 各部会の所掌事項の一部変更について

賛成 15名
反対 0名

	意見	事務局コメント
1	<p>基本的に賛成ですが、コロナ感染症についてはそれぞれの部会の特に所掌した方が良い範囲、または分担範囲を上げておいた方が良いと思います。例えば、健康なまち地域ケア部会では、住民の活動への影響、それを支援する行政への影響が大きかったと思いますので、それらの課題抽出をして対策を練るとかです。医療システムへの影響は地域医療システム化推進部会で、飲食店等地域産業への影響は暮らしの衛生部会で、などです。そして、それらをまとめる役割をどれかの部会かで持つ様にするのではなくて良いでしょうか。協議会が持てば良いでしょうか。災害対策や人材育成についても、同様に分担範囲を上げられたらどうでしょう。ただ事務局のお考えは、その範囲だけを検討すれば良いという主旨ではないと理解しています。</p>	<p>本件で事務局が想定している「複数の部会で所掌する項目については、各部会の所管分野の観点から審議することとする。」とは、まさに記載していただいたようなイメージです。災害対策や人材育成も同様です。とりまとめについては、協議会で行いたいと思います。</p>
2	<p>健康なまち・地域ケア部会にも災害対策が位置づけられることで、平時から災害に強いまちづくりの視点が入ると良いと思います。</p>	<p>災害対策、特に避難行動要支援者対策や要配慮者対策を推進していくには、住民・行政・福祉関係者の連携や、住民に対する自助・共助・公助の考え方の普及啓発が重要です。「災害時保健活動の体制強化」を健康なまち・地域ケア部会に位置づけることで、おっしゃるような平時から災害に強いまちづくりができるよう、当部会において検討・共有していきたいと思えます。</p>
3	<p>変更理由欄に記載の内容から妥当と思料します。</p>	<p>今回の所掌部会の一部変更により、感染症対策、災害対策、人材育成などについて、これまでとは異なる分野の観点からの意見交換が加わります。圏域における課題や好事例の共有等が一層深まるよう、事務局も努めてまいります。</p>

3 地域保健医療推進プランの進捗状況について（協議事項）

	意見	事務局コメント
1	<p>コロナ禍における住民、健康づくり推進員の活動が各市で把握され、住民も行政もアクティブにコロナ禍の中でも活動する様になっていた事は大変素晴らしいことと思われました。オンラインを活用した相談活動が始まったりするだけでなく、新規の住民活動もコロナ禍の中においても見られた事は、コロナの不安に負けずに対策を打ちつつ動かれたものと心打たれます。住民も行政もその努力を大いに称えたいと思います。資料3-2にはその様な素晴らしい事例が沢山挙げられていました。</p> <p>資料3-4 好事例、先進事例 多くの事例が報告されました。それだけ好事例・先進事例を出そうという会員の意識があることが、まず一つ大変良いことで、多くの会員がその様に意識していろいろな活動を見つけ出して、発展に結びつける行動を取り始めたと思います。そして、見つけ出したものが今後どのような発展に繋がるかを見届けて出発点になります。その育てる視点も非常に大切となると思います。</p> <p>事例集の作り方としては、その報告者の立場が記載された方が良いと思われました。報告組織の中の人か、外の人かによって把握の視点も異なってくるし、その後の見方も異なります。</p>	<p>ご意見のとおり、コロナ禍でも各機関がこれまでの取組を後退させないよう、事業・活動を進めています。今後も好事例・先例事例を共有し、一層推進されるようにしてまいります。</p>
2	<p>各市・保健所ともにオンライン活用がコロナ禍で一気に進んだと思います。</p> <p>ただ、グループ作りや実習などは対面にはかなわないものも多くあると思いますので、感染症が収束した時に、対面を経験していない新任者などに経験が受け継がれるようお願いしたいです。</p>	<p>ご指摘のとおり、オンラインでは、感染予防ができる、移動時間がなく多くの人が参加しやすい等のメリットの一方、双方向のやりとりや、相手の反応を見ながらの対応がしにくいなどのデメリットがあります。保健所では、令和4年度も感染状況、事業内容や対象者に応じた開催方法とするなど、効果的な運営を行ってまいります。</p>
3	<p>コロナ下で、高齢者・障害者らが閉じこもり、孤立化しがちになりがちと言われるが、当事者や地域で声をかけあうなどの試みも聞く。そうした活動や動きを応援する方法・しくみは考えられないだろうか。</p>	<p>新型コロナの感染予防のため、様々な取組のオンライン化、デジタル化が一気に進み、従来からの取組を補完しつつあります。しかし、高齢者や障害者の中には、このような波に取り残され、従来のような活動もできずに孤立している方も少なくないと思います。</p> <p>各市において高齢者等の見守り支援事業に取り組んでおりますが、コロナ禍では一層その重要性が高まっていると思います。</p>

4 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

	意見	事務局コメント
1	<p>この間の保健所と管内医療機関のご苦勞については、並々ならぬものがあつたと思いますので、皆様のご努力に感謝致します。協議会としては、出来るだけその状況を理解したいと思つていますので、そのご苦勞の内容を少しでも共有できると良いと思つています。その様な程度の協議会活動でも、それが少しでもコロナ対策に資することが出来れば幸いです。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は、行政・関係機関等の活動に大きな影響が出ており、引き続き各機関で対策を行つていく必要があります。協議会・部会において、各機関の課題・好事例を共有し、コロナの影響を低減できるよう、努めてまいります。</p>
2	<p>読ませていただきました。私の住む小平市が西東京市について、患者数増加の原因が心配でございます。自宅療養体制や各問い合わせ先への電話のつながりやすさ等々、最善の体制をさらに強化していただき、患者本人・家族等への対応をさらに御検討お願い致します。</p>	<p>オミクロン株は、デルタ株に比べて重症化率は低いものの、感染力が強く、特にワクチン接種をしていない12歳未満のお子さんの感染割合が高いのが特徴です。地域によって患者数が異なりますが、多くの方が通勤・通学等で広範囲にわたり移動するため、患者数が少ない地域でも安全とは言えません。</p> <p>都や保健所では、第5波までの課題やオミクロン株の特性を踏まえた自宅療養者支援対策を進めています。また、市、医師会では、自宅療養者に対する都・保健所の対応を補う生活支援や医療支援取組を行つていただいています。</p> <p>引き続き、関係機関と連携しながら体制を充実させてまいります。</p>
3	<p>コロナ対応におきまして、多くのご助言など、ありがとうございます。</p> <p>さらに、連携を密に、力を合わせて、この状況を乗り越えていきましょう。</p>	
4	<p>オミクロンも少しずつ減少傾向が見えてきましたが、まだ第5波から比べれば波の高さは比較にならない高さです。本当に長期戦お疲れ様でございます。</p>	<p>第5波までの課題を踏まえて、都・保健所では第6波への備えを進めておりましたが、想定を大幅に超える感染者数となったため、対応が行き届かないこともありました。</p>
5	<p>2年にわたるコロナとの闘い、最前線で私たちの安心・健康のためにご尽力いただいていることに感謝申し上げます。本当に有難うございます。</p>	<p>新規患者数は、第6波のピーク時より減少しましたが、高い値で推移しています。医療機関、医師会、市等、関係機関のみなさまに御理解・御尽力いただいていること、保健所職員一同感謝申し上げます。引き続きさまざまな機関と連携しながらコロナ対策を進めてまいります。</p>
6	<p>了解です。</p>	
7	<p>日々のご対応、ありがとうございます。</p>	

5 その他

	意 見	事務局コメント
1	<p>感染した本人、家族、職場へのすみやかな相談、支援体制のほど強く希望させていただきたいと思います。大変に御尽力くださっている感謝をこめて、書かせていただきました。</p>	<p>第5波の際、保健所への電話がかかりにくかったことから、電話回線数の増強、SMS(ショート・メッセージ・サービス)による連絡体制の整備、ホームページの充実等を進め、多くの方に早く、効率よく、必要な情報が伝わるよう対策を行っています。</p>
2	<p>コロナ下で多忙な中頑張っておられる皆様に敬意を表します。</p>	<p>また、市、医師会では、自宅療養者に対する都・保健所の対応を補う取組を行っていただいています。今後も必要な情報が必要な方に確実に伝わるよう、様々な媒体・機会を活用して広報活動や普及啓発を行ってまいります。</p>